

下都賀地区生涯学習研究会機関紙 第33号

ネットワーク

平成25年12月
 発行 下都賀地区生涯学習研究会
 事務局 下都賀教育事務所
 ふれあい学習課内
 Tel 0282-23-3422
 Fax 0282-23-3502
 Mail: shimotsuga-kyouiku
 @pref.tochigi.lg.jp

本年も残すところあと僅かとなりました。新年も目の前です。年末年始は家庭や地域において多くの行事が計画される時期です。このようなときこそ、幅広い年代の人々との交流活動や体験活動の機会を設定し、家庭と地域の教育力の再生・充実につなげていきたいものですね。

好評のリレー「となりの社教主事」は栃木市教育委員会事務局生涯学習課の堀江真哉さんから、“本当に”となりの席で業務にあたられている栃木市教育委員会事務局生涯学習課の木村信孝さんへリレーされています。この他、様々なお便りが寄せられています。ぜひ、今回も紙上をとおして皆さんとつながっていきましょう。



シリーズ「事例から学ぶ35」 「東日本大震災スタディツアー」

下野市立南河内第二中学校 教諭 星野 友保

生徒会主催で、福島県いわき市に希望者を募り、生徒・保護者・教員 84 名で見学・体験してきました。大震災を風化させないことや被災当日の様子と現在の状況を実際に見ることで、今後の自分の生き方や関わり方を考える機会にすることがねらいです。さらに文化祭で全校生に発信し、共有しました。

浜風商店街は津波と直後の火災により甚大な被害を受けましたが、地域復興の先駆けとして小学校敷地内に仮設をオープンしました。当時の写真や映像は衝撃的で、説明に涙する生徒もいました。しかし商店街の方々は常に笑顔で私たちが勇気をいただきました。また、土台だけが残り雑草が覆い茂った街を歩き、地域ボランティアの方から説明をいただきながら体験した時間は、参加者の心を大きく揺さぶりました。

「ご近所さんが無くなってしまった。」と涙していた商店街の方々。無惨な姿で取り壊しを待つ校舎。生活音のない街。人が生きるといふことは何かを考えさせられました。「家族や学校・地域をもっと大事にします。」生徒の声が響いています。



シリーズ「事例から学ぶ36」 家庭教育支援チーム「かざぐるま」の活動

小山市教育委員会事務局生涯学習課 主事 山口 史織

小山市家庭教育支援チーム「かざぐるま」は、平成20年度に結成されて以来、多くの保護者が集まる様々な機会を利用して親学習プログラムを実施しています。

その中でも中心となる活動が、就学時健康診断時の保護者の待ち時間を利用しての親学習プログラムの実施です。始まる前は、緊張した様子で待っていた保護者の方々も、アイスブレイクが始まると徐々に笑顔も出てきて、最後は楽しく和やかな雰囲気の中で活動する姿が多く見受けられます。

参加者からは「自分を振り返るいい機会となった」「他のお母さんも同じような気持ちで安心した」などの声を多くいただき、子育てに関する不安や悩みの軽減に繋がっているのではないかと思います。また「入学前にコミュニケーションがとれてよかった」「同級生になるお母さん達と交流ができて良かった」などの感想も多く、入学前の保護者同士の交流の場としての役割も果たしています。

今後も小山市では学校や家庭と連携し、地域一丸となって小山の子どもを育てる環境づくりを進められるよう、家庭教育支援の推進に努めていきます。

雑感

「社会教育主事講習受講10周年記念」

栃木市立大平南中学校 教頭 関口 哲夫

平成15年の夏、宇都宮大学で社会教育主事講習を受講しました。当時、自分が顧問をしていた岩舟中卓球部の県大会での成り行きを気にしながら、休み時間には携帯電話を片手に副顧問の先生と連絡を取り合い、団体戦のオーダーに頭を悩ませたことを思い出します。時がたつのは早いもので、今年は社会教育主事講習受講10周年記念です。あの時受けたカルチャーショックは、その後の仕事をする上で、ボクシングのジャブのように確実にきいています。

今年から、大平南中にお世話になっていますが、本校は、今年で創立30周年です。栃木市長様を始め、歴代の校長先生やPTA会長様など多くの来賓をお招きしての盛大な記念式典を行いました。初めは、なんで30周年に当たってしまったんだろうと思っていましたが、準備をしていく中で、多くの関係者との出会いがあり、普段は経験できないようなことがたくさんあって、感謝の気持ちに変わってきました。周年記念というのはやってみて初めて、その意義が実感できるものであることを知りました。

今年、私の結婚20周年記念も盛大にやらなければ・・・

リレー「となりの社教主事28」 「とちぎ未来アシストネット」

栃木市教育委員会事務局生涯学習課 社会教育主事 木村 信孝

現在、私の担当業務に「とちぎ未来アシストネット事業」というものがあります。これは、国の「学校支援地域本部」とリンクしており、昨年度策定された「栃木市教育計画」の中で、“ふるさとの風土で育む人づくり・まちづくり”というスローガンとともに全ての教育施策の根幹を為すものと位置づけられています。

学校の教育活動へ、地域の多くの方にボランティアとして参加してもらい、学校を核とした地域の教育力を高め、地域ぐるみで子どもを育てる“教育システム”を構築するという仕事は、私には大き過ぎるもので、日々いろいろな課題に直面しているのが現状です。ただ、この教育システムが我がまちに定着すれば、“人の活気で溢れる、明るい生涯学習基盤社会”への大きな一歩ともなります。

とても“しびれる”仕事を今しています。

第2回研修会報告

11月22日（金）小山市小山グランドホテルにおいて平成25年度下都賀地区生涯学習研究会第2回研修会が開催されました。研修会は、まず、平成25年度社会教育主事講習受講報告「社会教育事業に関する企画開発」について社会教育主事講習修了生を代表して壬生町立壬生東小学校の岩間紀憲先生に発表いただきました。次に栃木市立大平南中学校の福地達也先生にファシリテーターをお願いして「思春期版家庭教育支援プログラム」の演習を行いました。そして、最後に、県教委事務局生涯学習課の白井淳子社会教育主事により「栃木県における家庭教育の支援」について御講話いただきました。家庭の教育力は教育の基本といわれます。そして、その家庭と学校、地域が連携することによってより大きな教育効果を期待できます。

ぜひ、私たち、社会教育主事有資格者を中心に、家庭教育支援をしていきましょう。



第3回研修会案内

来る平成26年1月23日（木）岩舟町文化会館「コスモスホール」において平成25年度下都賀地区生涯学習研究会第3回研修会を実施いたします。

研修会は、「地域のネットワーク作り」をめざして、事例発表「ボランティア活動とネットワークづくり」、そして、「地域全体で育むソーシャルキャピタル」（仮称）をテーマに東日本大震災においてビッグパレットふくしまの避難所運営にあたられた福島大学の天野和彦先生に御講話をいただきます。

協議の時間もございますので、ぜひ、私たちから地域のネットワーク構築を図っていきませんか。

編集後記

12月を迎え、寒さが一層厳しさを増してきました。たくさんの皆様のご協力を頂き、33号の発行を迎えることができました。感謝申し上げます。これからも『ネットワーク』を通じ、各学校等の社会教育の取組や研修会のご案内、また、有資格者の皆様の紹介など、ネットワークづくりを進めていければと思っています。年末、学期末のお忙しい中ですが、『ネットワーク』を読みながら、ほっと一息ついていただければと思います。（1）